

1234 • LISA VOL.11 NO.1 2004-1

設組織として運用されている。

本プロジェクトの構成は麻酔科医を中心に、内視鏡センター、緩和ケア、小児科、口腔外科、循環器内科、神経内科、整形外科、救急科など複数診療科の医師、看護師、薬剤師、医療安全管理部スタッフからなり、診療科横断的な合意形成と実行力を担保する体制を構築した。このような枠組みにより、鎮静を一部門の問題ではなく「病院全体の安全管理上の課題」として扱う姿勢を明確にしている。

当院の取り組みの中核は、中等度以上の鎮静を実施するすべての症例に対して呼吸モニタリングを義務づけた点にある。従来、鎮静患者の監視はパルスオキシメータが中心であったが、低酸素血症が顕在化する前段階である上気道閉塞や無呼吸を早期に検出することが重要であるとの認識から、呼吸ガスモニターの装着を全例に義務化した。この方針を実行するためには、十分な機器整備が不可欠であった。既存の生体情報モニターに接続可能な呼吸ガスモジュールを導入し、鎮静実施頻度の高い部門にはサイドストリーム方式の専用機器を追加配置した。加えて、検査室退室後の安全確保を目的として搬送用小型モニターも複数台整備した。これらは相応の設備投資を伴うものであり、医療安全管理部門が関与し、院内合意のもとで予算措置を講じなければ実現し得ない組織的体制整備であった。

鎮静管理の検討にあたっては、「病棟における鎮静」と「検査・処置に伴う鎮静」を切り分けた。病棟では患者背景や鎮静目的が多様であり、薬物や投与方法の標準化は困難と判断したが、

呼吸モニタリングについては中等度以上の鎮静では全例装着とする方針を徹底した。一方、検査・処置の鎮静では院内共通原則を提示し、各診療科に手技別マニュアルの作成を義務化した。鎮静は処置担当医とは別の医師が担い、鎮静中は呼吸ガスモニターを装着することを原則とした。各診療科から提出されたマニュアルは内容の妥当性について「鎮静プロジェクト」で審査・承認を行い、2015年から本格運用となった。

さらに、2016年には検査・処置後の安全確保策を整備した。入院患者に対しては退室基準を共通化し、「入院鎮静患者の退室確認書」を導入した。条件付き退室症例では搬送中から帰室後2時間まで呼吸ガスモニターを継続使用する体制を構築した。これにより、鎮静後の意識レベル低下や体位変換に伴う上気道閉塞などを早期に検出し、重篤化を防止する仕組みが整えられた。

教育面では、マニュアル発行に先駆けて、看護師に対する呼吸モニタリング講習会を実施するとともに、医師に対しては麻酔科医による on the job training (OJT) を行い、実症例を通じて鎮静管理と有害事象対応の習得を図った。麻酔科医は高リスク症例への直接関与に加え、マニュアル策定、OJT、退室基準の設計、毎年更新される各診療科手技別マニュアルの審査に関与し、専門的観点から体制全体を支えている。

以上の取り組みは、鎮静を個々の医師の技量に依存するのではなく、医療安全管理部門が主導する組織的枠組みの中で、麻酔科の専門性を基盤とした組織体制・管理体制を構築したものである。

手術室外鎮静の安全確保は、実施者の技量に依存する課題ではなく、病院全体で取り組むべき組織的課題である。適切なモニタリングを含む体制整備、緊急時の救援、教育と質改善の継続により安全性を担保することが可能となる。また、手術室外鎮静は麻酔科医の専門性を院内全体の医療安全に還元できる重要なフィールドであり、今後ますますその役割は大きくなると考えられる。

文献 13a 見出し MB 31
色ベタ

1. 日本医療機能評価機構. 病院機能評価機能種別版評価項目解説集<3rdG: Ver.3.0>: 一般病院3. 2025年12月5日版.
2. Joint Commission International. Joint Commission International Accreditation Standards for Hospitals - Including Standards for Academic Medical Center Hospitals. 8th ed. 2025. https://store.jointcommissioninternational.org/assets/3/7/BJCH24_Sample_Pages.pdf
3. Coté CJ, Wilson S. Guidelines for monitoring and management of pediatric patients before, during, and after sedation for diagnostic and therapeutic procedures. Pediatrics 2019; 143: e20191000.
4. Hinkelbein J, Lamperti M, Akeson J, et al. European Society of Anaesthesiology and European Board of Anaesthesiology guidelines for procedural sedation and analgesia in adults. Eur J Anaesthesiol 2018; 35: 6-24.
5. Practice guidelines for moderate procedural sedation and analgesia 2018: a report by the American Society of Anesthesiologists Task Force on Moderate Procedural Sedation and Analgesia, the American Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, American College of Radiology, American Dental Association, American Society of Dentist Anesthesiologists, and Society of Interventional Radiology. Anesthesiology 2018; 128: 437-79.